

地域農林経済学会ニューズレター

The Association for Regional Agricultural and Forestry Economics

2024. 12.25 第 41 号

編集・発行 地域農林経済学会 <http://a-rafe.org/2/0>

【学会事務局】〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株式会社学会部内

TEL: 075-415-3661 FAX: 075-415-3662 E-mail: arfe@nacos.com

目次

1. 『農林業問題研究』の発刊案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
Publication of the Journal of Rural Problems
1-1 第 60 巻・第 4 号（第 236 号）目次
Table of Contents for Volume 60 Issue 4 (Issue 236)

 2. 農林業問題研究 第 60 巻（第 233～236 号）総目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
Table of Contents Summary for Volume 60 (Issue 233～236)
2-1 総目次
Table of Contents Summary
2-2 農林業問題研究 59 巻・60 巻 査読者一覧（2023.01.01～2024.12.31）
List of Reviewers for Volumes 59 and 60

 3. 2024 年度 地域農林経済学会中国支部大会の開催報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
Report on Chugoku Branch Conference
-
-

1. 『農林業問題研究』 発刊の案内 **Publication of the Journal of Rural Problems**

1-1 第 60 巻・第 4 号（第 236 号）目次 **Table of Contents for Volume 60 Issue 4 (Issue 236)**

<研究論文> Research Article

京都産野菜の購買パターンに対する生産地居住者による意味づけ—空間的近接性によるローカル
フード購買の事例分析—

The Meanings behind Purchasing Local Vegetables by Residents in Kyoto, Japan: Case Studies on
Purchasing Behavior toward Local Food Based on Spatial Proximity

小林千夏 (Chinatsu Kobayashi)

<個別報告論文> Short Paper

有機農業における大規模法人と新規参入者の連携・補完関係の有効性—茨城県つくば市における
事例分析—

Collaboration and Complementary Relationships between Large Farms and New Entrants to Spread Organic
Agriculture: Case of Tsukuba City, Ibaraki Prefecture

横山史明・小川景司・中塚雅也 (Fumiaki Yokoyama, Keishi Ogawa & Masaya Nakatsuka)

A Study of Changes in Cultivation Methods in Traditional Farming: The Case of “Nishi-Awa Steep Slope
Land Agriculture System” in Japan

山口 創・高田晋史・和佐大地・尾山郁人 (So Yamaguchi, Shinji Takada, Daichi Wasa & Ikuto Oyama)

The Role of Non-economic Factors in Customary Farmland Reallocation in Shandong Province, China: An
Analysis of Distrust to Village Cadres

Jia Bin

編集後記 Editor's Postscript

今回初めて常任編集委員を拝命いたしました。何もわからないままのスタートでしたが、他の先生方から貴重なご助言やあたたかいお言葉を頂戴し、なんとかお勤めを果たすことができました。また、編集委員会での議論を通じて学会誌の抱える問題についての理解を深めることができました。この場をお借りして心よりお礼を申し上げます。会議はほぼ全て休日にオンラインで開催されていたため、他の会議が重なったときにはベビーシッターを手配しなければならないこともございました。しかし、対面開催と異なり移動時間が必要ありませんので、地方住まいの子育て世代にとっては大変ありがたかったです。(YH)

2 農林業問題研究 第60巻(第233~236号)総目次

Table of Contents Summary for Volume 60 (Issue 233~236)

2-1 総目次 Table of Contents Summary

第60巻・第1号(第233号)2024年3月

<会長講演>President's address

方法論的遺言から研究課題の遺言へ

秋津元輝 (Motoki Akitsu)

<大会シンポジウム>Symposium

「みどりの食料システム戦略」(農水省・2021)と有機農業の農業論—農の原点にも立ち戻って—
 “Strategy for Sustainable Food Systems MIDORI” (MAFF 2021) and the agricultural philosophy of organic farming: Returning to the original position of agriculture

中島紀一 (Kiichi Nakajima)

有機農業の普及・拡大に向けたデンマークの政策的アプローチ

Exploring Policy Approaches for Further Development of Organic Farming in Denmark

浅井真康 (Masayasu Asai)

オーストリアにおける有機農業普及と農業環境政策

Current Status of Organic Farming Promotion and Agri-environmental Policy in Austria

石倉研 (Ken Ishikura)

Organic Farming Systems and Rural Revitalization in Italy – Current Situation and Way Forward

Zollet Simona

<国際シンポジウム座長解題>2023 International Symposium

Scaling up Agroecology from Policies to Practices: Emerging Policies and Contradictions in the Global North

Kae Sekine, Tadayoshi Masuda, Nina Takashino

<国際シンポジウム>2023 International Symposium

Emerging Policies and Contradictions in the EU: A Fair, Healthy and Environmentally Friendly Food System by 2030

Marianne Penker

Emerging Policies and Contradictions in the US: The Organic Label as a Agroecological Policy Lever

Nina F. Ichikawa

Emerging Policies and Contradictions in Japan: Pathways to Agroecology within the Framework of a Production-oriented Agricultural Policy

Keiichi Ishii

<書評>Book Review

鵜川洋樹著『飼料用米の生産と利用の経営行動-水田における飼料生産の展開条件』

千田雅之

両角和夫著『合併からネットワークへ—「農協改革」の課題—』

柴垣裕司

小林富雄著『食品ロスの経済学 第4版』

波野豪

第 60 卷・第 2 号(第 234 号)2024 年 6 月

<個別報告論文>Short Paper

香港における日本産牛乳の評価と輸出促進方策—アンケート調査に基づく分析—

Evaluating Japanese Milk and Export Promotion Strategies in Hong Kong: An Analysis based on Consumer Survey

李冠軍・八木浩平 (Guanjun Li & Kohei Yagi)

我が国における有機農産物等の消費者のセグメント—人口統計変数に注目した先行研究レビュー—

Market Segmentation for Environmentally Friendly Agricultural Products in Japan: A Literature Review of Demographic Characteristics

日田アトム・田中淳志 (Atomu Nitta & Atsushi Tanaka)

農業参入業種と「農業、林業」の財務的特徴に関する考察—法人企業統計調査を用いた分析—

Study on the Financial Characteristics of Industries Participating in Agriculture and “Agriculture and Forestry”: Analysis Using the Financial Statement Statistics of Corporations by Industry

上西良廣・南石晃明 (Yoshihiro Uenishi1 & Teruaki Nanseki)

<書評リプライ>Reply to Book Review

『合併からネットワークへ—「農協改革」の課題—』評者：柴垣裕司 (第 60 巻・第 1 号)

両角和夫

<書評>Book Review

八木洋憲・吉田真悟 編著『都市農業の持続可能性』

中塚華奈

第 60 巻・第 3 号(第 235 号)2024 年 9 月

<個別報告論文>Short Paper

農作業請負方式技能実習におけるキャリア支援とその有効性—鹿児島県下の総合農協を事例に—

Career Support and Its Effectiveness in Technical Intern Training Program for Farm Work Contracts: A Case Study of Japan Agricultural Cooperatives in Kagoshima Prefecture

中原寛子・中塚雅也 (Hiroko Nakahara & Masaya Nakatsuka)

新たなローカルフードコミュニティの設立と地域食再生のプロセス—徳島県神山町フードハブ・プロジェクトを事例として—

Regeneration of Local Food by a New Local Food Community: Case Study of Food Hub Project Inc. in Kamiyama, Tokushima Prefecture

岡久花衣・中塚雅也 (Kae Okahisa & Masaya Nakatsuka)

集落営農法人の経営展開意向とその規定要因—山口県におけるアンケート調査結果をもとに—

Business Expansion and Downsizing and Its Factors in Community-Based Group Farms: Empirical study based on the questionnaire in Yamaguchi Prefecture

小川景司・高橋一興・安藤光義 (Keishi Ogawa, Kazuoki Takahashi & Mitsuyoshi Ando)

持続可能な農業の理念に基づく地域を超えた流通システムの具現化

Constructing a Trans-Regional Distribution System Based on a Vision for Sustainable Agriculture

渡邊春菜・真田純子 (Haruna Watanabe & Junko Sanada)

＜書評＞Book Review

南石晃明 著『デジタル時代の農業経営学—農業ビジネスの動向，経営理論，展望—』

井上憲一

第 60 巻・第 4 号(第 236 号)2024 年 12 月

＜研究論文＞Research Article

京都産野菜の購買パターンに対する生産地居住者による意味づけ—空間的近接性によるローカル
フード購買の事例分析—

The Meanings behind Purchasing Local Vegetables by Residents in Kyoto, Japan: Case Studies on Purchasing
Behavior toward Local Food Based on Spatial Proximity

小林千夏 (Chinatsu Kobayashi)

＜個別報告論文＞Short Paper

有機農業における大規模法人と新規参入者の連携・補完関係の有効性—茨城県つくば市における事
例分析—

Collaboration and Complementary Relationships between Large Farms and New Entrants to Spread Organic
Agriculture: Case of Tsukuba City, Ibaraki Prefecture

横山史明・小川景司・中塚雅也 (Fumiaki Yokoyama, Keishi Ogawa & Masaya Nakatsuka)

A Study of Changes in Cultivation Methods in Traditional Farming: The Case of “Nishi-Awa Steep Slope
Land Agriculture System” in Japan

山口 創・高田晋史・和佐大地・尾山郁人 (So Yamaguchi, Shinji Takada, Daichi Wasa & Ikuto Oyama)

The Role of Non-economic Factors in Customary Farmland Reallocation in Shandong Province, China: An
Analysis of Distrust to Village Cadres

Jia Bin

2-2 農林業問題研究 59 巻・60 巻 査読者一覧 (2023.01.01~2024.12.31)

List of Reviewers for Volumes 59 and 60

赤沢 克洋・赤堀 弘和・秋津 元輝・浅見 淳之・足立 芳宏・家串 哲生・池上 甲一・伊藤
淳史・伊藤 順一・井上 憲一・岩本 博幸・上田 賢悦・上西 良廣・浦出 俊和・大仲 克俊・
鬼塚 健一郎・香川 文庸・片岡 美喜・川崎 訓昭・河村 能夫・河村 律子・北野 慎一・鬼
頭 弥生・木原 奈穂子・清野 誠喜・清原 昭子・草处 基・工藤 春代・久保 雄生・巖 善
平・近藤 功庸・澤内 大輔・柴崎 浩平・澁谷 美紀・関根 佳恵・千田 雅之・Simona Zollet・
高篠 仁奈・高田 晋史・高橋 明広・竹内 重吉・竹歳 一紀・駄田井 久・谷口 葉子・長命
洋佑・鶴田 格・徳田 博美・富吉 満之・内藤 重之・中川 雅嗣・中塚 華奈・中塚 雅也・
中村 貴子・中村 哲也・西井 賢悟・西村 武司・西山 未真・新田 義修・野中 章久・則藤
孝志・広田 勲・Hart N. Feuer・藤井 吉隆・藤栄 剛・藤本 高志・胡 柏・古塚 秀夫・細野 賢
治・増田 清敬・松田 敏信・松本 浩一・丸 健・三浦 憲・三輪 加奈・八木 浩平・矢倉 研
二郎・矢野 佑樹・山口 道利・山本 公平・山本 淳子・若松 宏樹・渡邊 正英

3. 2024 年度 地域農林経済学会中国支部大会の開催報告

Report on Chugoku Branch Conference

2024 年度の地域農林経済学会中国支部大会（幹事校：鳥取大学）を、2024 年 11 月 16 日（土）13 時 30 分から 15 時 30 分にかけて、日南町総合文化センター（鳥取県日野郡日南町霞 785）にて開催した。学生、研究者および農業関係者を含め約 30 名にご参加いただいた。また、約 20 名の方に、録画した大会記録をオンデマンドで配信した。

まず、辻村英之新副会長（京都大学）に開会あいさつをいただいた後、「地域まるっと中間管理方式」に取り組む日南町の 2 つの農業法人に、取り組みに至るまでの経緯および実態をご講演いただいた。「地域まるっと中間管理方式」とは、集落や広域組織の農用地を対象に、法人が中心となって農地を集約し、農地中間管理機構を通して利用する仕組みであり、地域内の農地の貸借を一元的に管理するだけでなく、中山間地域等直接支払交付金等の日本型直接支払交付金の受け皿組織となることで、地域の農用地の計画的な保全が可能となる。2 つの農業法人はそれぞれ、「地域まるっと中間管理方式」に取り組む際の留意点や現在の取り組み内容、今後の展望について紹介された。

その後、ご講演内容を元に、「農用地保全に向けた取り組みと農村 RMO 設立の課題」をテーマ

にパネルディスカッションを行った。パネルディスカッションでは最初に、座長を務めた木原奈穂子（鳥取大学）から、取り組みかかる具体的な実務量やその内容について、改めて確認された後、他の地域で導入する際の注意点などが議論された。また、会場から地域住民との関係性や法人として農用地保全のどこまでを担うかといった具体的な質問が挙げられた。また、それぞれの法人の中心人物であるご講演者 2 名の出自や地域で果たしている役割など、法人設立をリードする人材に求められる要因に触れる質問も見られた。

パネルディスカッション後半では、継続的な法人運営と交付金との関係性などが確認された。設立初期には交付金が必要とされるものの、設立後には経営計画を検討することで、自律的な運営が可能になることが示唆された。また、農村 RMO の設立と農業法人との関係性について、農用地保全の活動範囲と既存の「地域」の概念にズレがあることが議論された。農村 RMO の設立に際しては、「地域」の範囲を再確認する必要があることが示唆された。

鳥取大学 木原奈穂子

Tottori University Nahoko Kihara

.....

会員相互のよりよいコミュニケーションにむけて、皆様からのご意見やご要望、ご提案をお待ちしております。組織・広報担当常任理事（柴崎浩平 shibazaki.k@shse.u-hyogo.ac.jp または長命 洋佑 chomei@hiroshima-u.ac.jp）まで、積極的にお知らせ下さい。（柴崎）

地域農林経済学会ニューズレター 第 41 号

発行日：2024 年 12 月 25 日

ARAFE Newsletter No.41

Dec.25 2024

発行者：地域農林経済学会常任理事会（組織・広報担当）
